

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(北海道)

選挙公報【詳細版】

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 上川宗谷 )

- ①コールサイン : J E 8 J S X
- ②氏名(フリガナ) : 坂森 勉(サカモリ ツム)
- ③年齢 : 74歳
- ④職業 : 病院技師(診療放射線技師)
- ⑤無線従事者資格 : 第二級アマチュア無線技師

力を入れている無線活動

Award取得を目的にとして各バンドに移動局等の交信を楽しんでいます。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

記念局等の移動運用に参加し、アマチュア無線の活性化を図る。

## 令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(北海道)

### ●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 石狩後志 )

- ①コールサイン : J E 8 K Q R  
②氏名(フリガナ) : 大國 秀夫 (オオクニ ヒデオ)  
③年齢 : 53歳  
④職業 : 保険代理店 勤務  
⑤無線従事者資格 : 第2級アマチュア無線技士

#### 力を入れている無線活動

- ・自宅や車などからAPRSやC4FMなど主に50MHz～1200MHzでの運用
- ・石狩市の設備ではコンテスト参加を中心に14MHz～50MHzを運用
- ・小樽アマチュア無線クラブ 所属
- ・JR8VTレピータ団体 所属

#### JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

##### 1. 収支バランスを考えた運営

JARLは日本唯一のアマチュア無線の利益団体ですがその運営は中長期の経営計画が無い運営が基本となっております。「内部留保がある」安心感からなのか、年度当初から赤字予算で計画し、決算では予算を上回る赤字が旧JARLの時代から27年間連続で続いています。

JARL Newsの電子化・理事や社員に支払われる旅費の支払い基準見直しなど「乾いたタオルを絞る」気持ちで、経費削減をしなければなりません。南大塚で日々働いてくれている20名余りのスタッフの雇用という面からも無駄遣いをせず「1年間の収入範囲で1年間の運営をする」という基本を徹底するよう訴えます。また 目標意識をハッキリとし「何を?いつまでに?どうするのか?」という具体的な数値・ゴールを意識して活動する必要性も訴えていきます

##### 2. 組織運営と若年層の登用

JARL会員の平均年齢は、おおよそ67歳ですが正会員数53,089人(R5年3月)の内、60歳未満の会員は約30%です。世代交代は組織には非常に大切な事の1つですが、JARLでは如何でしょうか?会員の年齢別構成比から解るように、俗にいう現役世代と言われる60歳未満の会員が約15000人と少なく、支部や地方本部・各種委員会への参加する若い方々は、非常に少ないと思います。

現在活動されている諸先輩達の知識や経験・技能を早く継承し、JARLの将来を託す環境づくりが急務であると考え、訴えていきます。その1つとして 理事・社員の立候補要件を見直し、若年層の参加を促したく訴えていきます。

**「積極的な活動と情報発信」・「組織運営の透明化」に賛成です**